



～全国の看護師の実践能力の標準化を目指す～ **看護師のクリニカルラダー (日本看護協会版)を公表**

公益社団法人日本看護協会（会長・坂本すが、会員 70 万人）は、看護師の働く場や働き方が変わっても、全国共通で活用できる看護実践能力の指標「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を開発・公表しました。

これは看護実践能力を段階的に表し、到達度によって看護師の能力が示されるシステムです。これにより、看護師は能力段階を確認しながら自己研さんや人材育成を目指すようになるだけでなく、看護管理者や施設側は看護実践能力の担保・保証が可能となり、患者さん・利用者への安全で安心な看護提供につながる事が期待されます。

2025 年に向けて世界に例のない少子・超高齢社会を迎える日本では、医療提供体制の変化に伴い、急性期から在宅医療に至るまでシームレスな看護提供のニーズが高まっています。在宅をはじめとする看護師の活躍の場の広がりや働き方の多様化が進む中で、シームレスな看護提供を実現するためには全ての看護師に共通する看護実践能力の強化と併せて、働く環境にとらわれずに使うことができる能力開発・評価システムが必要です。

看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の特徴

1. あらゆる施設や場における全ての看護職に共通する能力として、看護実践能力に焦点化
2. 看護実践能力を「論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を実践する能力」と定義
3. 看護実践能力の構成は、「ニーズをとらえる力」「ケアする力」「協働する力」「意思決定を支える力」の 4 つで、これらは密接に関連し、どの場においても発揮されるもの
4. 習熟段階は 5 段階で評価

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」の公表に合わせ、病院・高齢者施設・訪問看護ステーションの実践例とラダーを活用するための手引き（随時更新）を本会ホームページ上で公開しています。

報道関係の皆さまには、この機会にぜひ取り上げて頂きますようお願い申し上げます。

クリニカルラダーとは

看護師の**実践能力を段階的に表現**し、各段階で期待される能力を示し、到達度によって能力を示すシステム

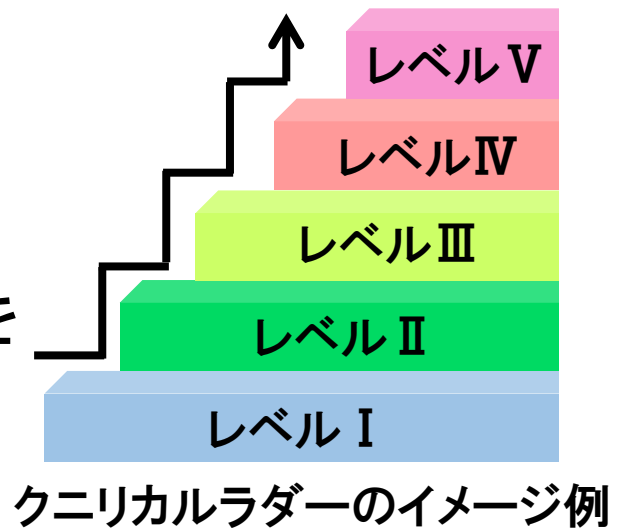
「クリニカル」

→看護実践における看護実践能力に焦点化

「ladder (はしご)」

→経験を積みながら、目標が定められた階段を一つ一つ登っていく

→看護実践能力を高めていく



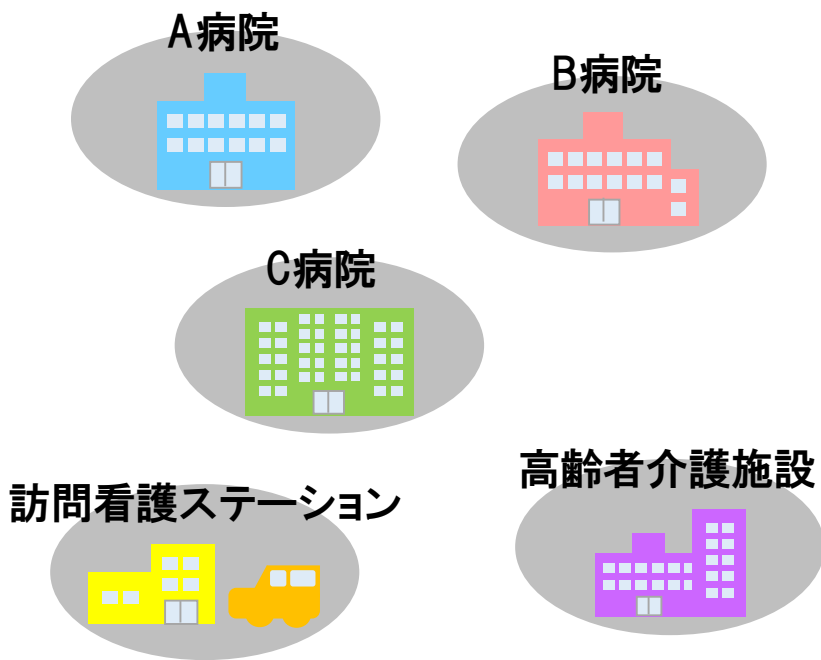
組織におけるクリニカルラダーの導入目的

- 看護師の実践能力の向上
- 看護師としての将来像の明確化
- 人事評価の判断 等

あらゆる場で活用可能な標準化された指標に基づく 看護師育成の必要性

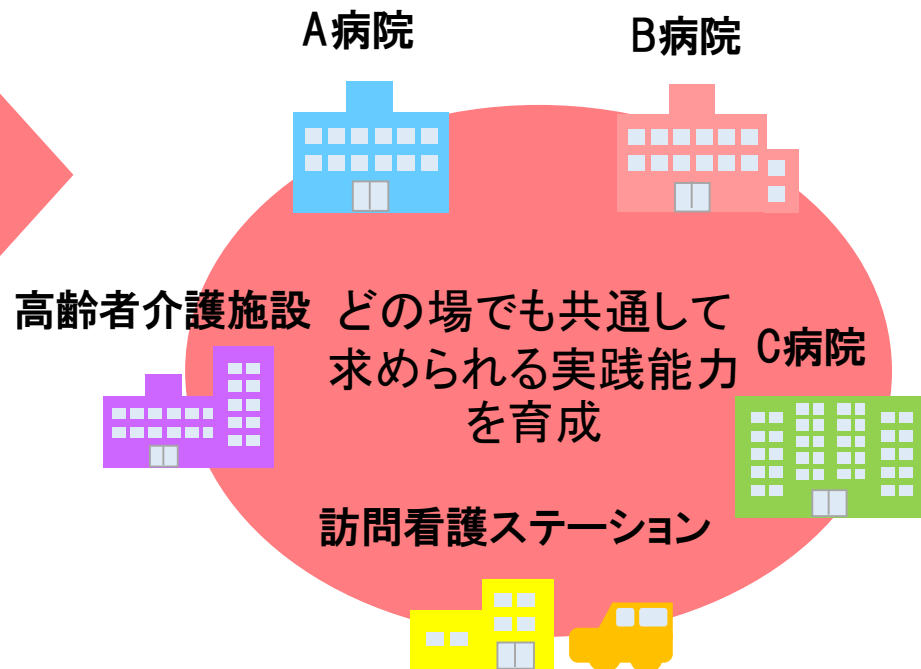
現在

- ラダーの内容やレベルの基準が施設ごとに異なる
- ラダーを導入・作成していない施設もある



今後

あらゆる施設や場で活用可能な標準化されたラダーを用い、**すべての看護師に共通する看護実践能力の育成へ**



開発の目的と将来的な構想

【開発の目的】

- 看護実践の場・看護師の背景に関わらず、すべての看護師に共通する看護実践能力の指標の開発と支援
- 看護実践能力の適切な評価による担保および保証
- 患者や利用者等への安全で安心な看護ケアの提供

目指した結果

将来的には、以下に結びつくことをねらいとする。

- 全国的な標準ラダーによる看護実践能力の担保・保証
- あらゆる場で働く看護師の能力評価への活用
- ラダーに応じた役割や適切な処遇への活用 等